

世羅町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

基本 目 標	重要業績指標（KPI） （単位）		実績値							基準値 （R1）	単年度 実績値 （R5）	目標値 （R5）	目標達成率	評価	
			R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7						
基本 目 標 Ⅰ	若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場を創出する														
	生産年齢人口 【数値目標】	人	9000	7971	7827	7574	7416	7246		7,971	7,246	7,287	99%	B	
	基本施策 1														
	創業者数	人	10	8	6	8	7			8	1	7	14%	D	
	基本施策 2														
	認定新規就農者数 （産業創造大学卒業者で 認定した者）	人	4	2	2	2	2	2	2	2	0	2	0%	D	
	基本施策 3														
	観光消費額	百万円	4000	2652	1828	1973	2352	2305		2,652	2,305	3,800	61%	C	
基本 目 標 Ⅱ	世羅町の魅力と立地を活かし新たな人を呼び込む														
		人	3000	2442	2324	2241	2181	2133		2,442	2,133	2,282	93%	B	
	基本施策 1														
	移住者数 （空き家バンクに限る）	人	30	18	21	22	14	7		18	7	26	27%	D	
	基本施策 2														
	新築住宅戸数	戸	100	72	65	75	44	59		72	59	75	79%	B	
基本 目 標 Ⅲ	結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を提供する														
	合計特殊出生率 【数値目標】	人	2	1.88	1.20	1.20	1.21	1.06		1.88	1.06	1.88	56%	C	
	基本施策 1														
	子育て世代包括支援 センターの利用人数	人	10000	5071	7180	7630	8594	8585		5,071	8,585	7,550	114%	A	
	基本施策 2														
	世羅高等学校入学者数	人	200	109	111	110	79	89		109	89	120	74%	B	
基本 目 標 Ⅳ	質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する														
	社会増減数 【数値目標】	人	0	-43	-67	-30	-24	-46	-18		-43	-77	-18	23%	D
	基本施策 1														
	ケーブルテレビの インターネット加入率	%	100	36.1	37.8	52.7	51	52.2		36.1	52.2	48	109%	A	
	基本施策 2														
	せらまちタクシーの 利用者数	人	40000	29214	24022	22650	27003	26086		29,214	26,086	30,068	87%	B	
	基本施策 3														
	公立世羅中央病院 常勤医師数	人	30	14	13	16	16	16		14	14	16	88%	B	
	基本施策 4														
	元気な地域づくり 応援事業実施件数	件	10	0	0	2	4	6	8		0	3	6	50%	C

基本目標Ⅳ 質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する															
【基本的方向】 住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、高速大容量の通信網を整備し、ICTによる地域課題解決・地域活性化の実現を図ります。また、交通ネットワーク及び医療体制の充実を図ります。さらに、住民が主体となった地域課題の解決や地域活性化に資する取り組みを支援することで、協働のまちづくりを推進します。					数値目標		社会増減数								
					(単位) 人	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価	
					0 -50 -100 -150								23%	D	
					【総合戦略評価・意見】 評価できる：13人 評価できない：0人										
					他市町に比べて世羅町は転出者数について若年層の男女による性別の差がないのが特徴的だ。										
基本施策 1 情報通信基盤の整備															
令和 5 年度の成果			全体を通しての方向性			重要業績指標（KPI） ケーブルテレビのインターネット加入率									
【 1. 情報通信基盤の整備】 ケーブルテレビのインターネット加入率：52. 2%			・インターネット加入率の向上のため、CATV 及びインターネットの周知に努める。			(単位) %	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
						100 50 0							109%	A	
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：3人 有効でない：0人						住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									
【 1. 情報通信基盤の整備】 ●目標値を達成している。 ●一方で、町の中心部には（インターネットに接続できる）別の選択肢があると思うが、中心部から離れるとケーブルテレビのインターネットしか選択できないのではないかと？ ●加入率が増えないワケ等は何かあるのか？						1. 町中心部は、スマートフォンによる通信環境の確保をなされているものと考えられます。 ・高齢化等を要因とする、既契約者の解約による減少もあるが、法人の新規加入も行われており、今後について増加傾向が続くものと想定しています。									
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：13人 評価できない：0人						総合戦略推進会議意見に対する町の考え									
――						――									
基本施策 2 地域公共交通ネットワークの充実															
令和 5 年度の成果			全体を通しての方向性			重要業績指標（KPI） せらまちタクシーの利用者数									
【 1. 地域公共交通ネットワークの充実】 ・せらまちタクシーの利用者数：26, 086 人 ・乗車説明会：6 回 ・乗車体験会：13 人			・せらまちタクシーの利用促進を図るため、広報せらやケーブルテレビでの周知、説明会・乗車体験会の継続的に実施する。 ・地域公共交通計画の策定及びせらまちタクシーの運行見直しを行う。 ・せらまちタクシー直行便の利用者増に伴う車両大型化 ・交通事業者及び地域との連携及び支援し、路線バスや高速バス、自家用有償運送等の維持を図る。			(単位) 人	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
						40000 30000 20000 10000							87%	B	
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：1人 やや有効：2人 有効でない：0人						住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									
【 1. 地域公共交通ネットワークの充実】 ●せらまちタクシーの乗車体験会を実施し、利用促進が図れていて良い。Web予約システムが開始され便利になった（特に若い人） ●せらまちタクシーの待ち時間がバラバラなので、運転免許証の返納をためらったりする。車両の位置情報が分かるようになれば良いと思う。 ●世羅町でもライドシェアの導入を進めてみては？						1. 説明会や乗車体験会の実施申込が少ないので、各地域での開催の周知を図ります。また、web 予約の利用拡大を推進します。 ・乗合タクシーの仕組上、定時性を図ることは困難なため、到着時間を予約センターに問い合わせさせていただくなどの対応によりサービスの向上を図ります。 ・ボランティア輸送による地域内限定の取り組みを試験的に黒川地区で実施します。									
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：13人 評価できない：0人						総合戦略推進会議意見に対する町の考え									
せらまちタクシーの Web 予約の状況と利用者減の分析は。						Web 予約の利用は増加しており、特に外国人の利用が増えている。利用者減少の要因は、高齢化による実利用者が減少（▲6. 4%）。									
基本施策 3 医療体制の充実															
令和 5 年度の成果			全体を通しての方向性			重要業績指標（KPI） 公立世羅中央病院常勤医師数									
【 1. 医療体制の充実】 ①オンライン診療実施医療機関数：1 件 ②公立世羅中央病院常勤医師数：14 人			・デジタル技術への対応が困難な方も利用できるよう、必要な情報を整理し、情報提供する。 ・救急相談センター事業により、住民への安心・安全の提供とともに、救急搬送件数や医療機関への問い合わせの削減など、救急車の適正利用や救急医療機関受診の適正化を図る。 ・安定した医療サービスの提供を継続していくため、公立世羅中央病院の人員確保や施設整備の取組みへの支援を継続的に行う。			(単位) 人	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
						30 20 10 0							88%	B	
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：3人 やや有効：0人 有効でない：0人						住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									
【 1. 医療体制の充実】 ●「救急相談センター（＃7119）」の導入は良いこと。 ●マイナ保険証の利用を進めて、電子カルテや薬剤情報管理と共有を。 ●タブレット問診の患者のメリットはあるのか。紙との違いは何なのか。						1. 広島広域都市圏・備後圏域を対象エリアとし 24 時間 365 日利用できる「救急相談センター(＃7119)」の活用により、救急医療を必要とする際の住民の方への安心・安全を提供してまいります。 ・マイナ保険証の利用率が向上するよう、医療機関とも連携し取組を進めます。 ・タブレット問診の導入等デジタル化の推進は、待ち時間の短縮や医療事務の効率化に繋がるものと考えます。									
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：13人 評価できない：0人						総合戦略推進会議意見に対する町の考え									
常勤医師数 2 名不足による対策は。						「ふるさと枠医師」の事業活用また、広島大学病院からの医師派遣により補完している。									
基本施策 4 元気な地域づくりの推進															
令和 5 年度の成果			全体を通しての方向性			重要業績指標（KPI） 元気な地域づくり応援事業実施件数									
【 1. 元気な地域づくりの推進】 令和 5 年度助成件数：3 件 （令和 5 年度は、令和 6 年度に実施するプロジェクトを募集したところ 3 件の応募があり、そのうち 2 件を採択し、寄付を募った結果 2 件とも成立した。）			・令和 5 年度に成立したプロジェクトがスムーズに取り組めるよう助言を行う。 ・令和 7 年度実施のプロジェクトの募集を開始する。 ・令和 3 年度に国に認定を受けた地域再生計画では、令和 7 年度のプロジェクト実施まで実質 3 カ年の支援を予定している。多くの提案・実施につながるよう、事業の周知、ふるさと納税の掘り起こし等に注力していく。 ・令和 7 年度以降の本事業の継続性について、国の動向を注視しながら今後のあり方を検討する。			(単位) 件	R 1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
						10 5 0							50%	C	
住民ワーキング会議からの意見評価 有効：3人 やや有効：0人 有効でない：0人						住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え									
●クラウドファンディングのような制度のため、目的が明確なので集まりやすい。 ●応募できる団体はどこまで大丈夫なのか。スポーツ少年団とかはダメなのか。						1. 令和 4 年度の制度開始から 3 年目、制度への理解が進んでいると考えています。 ・5 人以上で構成され、構成員に町内に住所を有する者を複数人含む、町の活性化のために地域づくり活動を行う団体です。なお、他にも要件があり、また、実施内容により判断が異なることがありますので、事前に担当課へ問い合わせをお願いしています。									
総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：13人 評価できない：0人						総合戦略推進会議意見に対する町の考え									
実績 3 件の実施内容は。						実施内容は津久志地区の天然芝でのサッカーイベント・だんじり保存会による看板設置・野外音楽フェスティバルの 3 件。									